

開始(一五:四五)↓山の神沢本

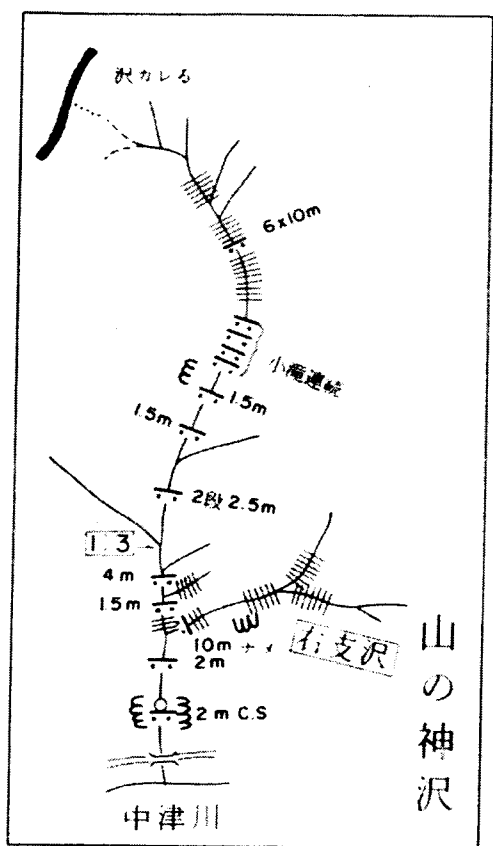
流(一六:〇〇)

# 大沢

シナヅメ  
一九八五年一〇月一九日

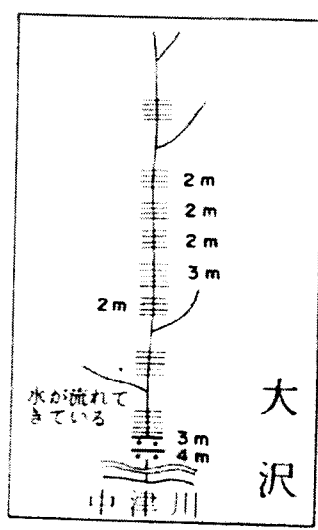
中津川林道ゲートに車を置いて、林道を歩く。毎度のことながら、ゲートの存在がうらめしく感じられて仕方がない。三〇分程で大沢出合。林道からの取り付きは、いきなり

四段、三段と続く二段滝である。水が一滴もないカレ沢であるが、高橋さんのためにザイルを使用して登る。上はナメとなっていた。一五分程歩くと水が出てきた。出



## 山の神沢

合から全部岩盤であるのに、水はどこへ消えてしまうのだろう。不思議である。この先もナメの連続である。ヤブになってきたあたりで遊行



## 大沢

終了とし、山の神沢右支沢の下降めざして右岸のヤブこぎを開始する。

(記)

「タイム」 林道ゲート(一四:三〇)  
↓大沢出合(一五:〇〇)↓遊行  
終了(一五:三〇)

